

Rotary
第2760地区



世界に希望を生み出そう

プライド ブランド 未来へ!!

3

2024.月信

VOI.09

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2023-24 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



2760

古札納所



表紙のお話



豊川稲荷

正式名『円福山妙厳寺』曹洞宗の寺院。鎮守・豊川吒枳尼真天(とよかわだきにしんてん)が稲穂を担い、白い狐に跨っておられることから『豊川稲荷』として広く信仰されている。本年11月には新法堂の落慶法要と晋山式が予定されている。



霊狐塚

もとは納めの狐像を祀る場所であったが、祈願成就の御礼として御信者の奉納された大小、多くのお狐さんがお祀りされている。その数はおよそ一千体にものぼる。

文・写真提供 東三河分区ガバナー補佐 竹内幹尚

C

ontents

- 1 表紙のお話・目次
- 2 ガバナーズメッセージ
- 3 3月 水と衛生月間によせて
- 4 3月 世界ローターアクト週間
- 5 活動報告:女性の集い
- 6 活動報告:ロータリー財団補助金管理セミナー
- 7 特集:東三河分区(12RC)紹介
- 12 会員増強報告



2024-25年度が動き出しました

2024年の幕開けとともに、国際ロータリーではガバナーエレクトを一堂に会して「国際協議会」が1月8日～12日にかけてアメリカ、オーランドで開催されました。同地区からもガバナーエレクトである吉川公章氏が参加され無事に帰国されました。多くの出会いと学びを得たものと思われ、2024-25年度が待ち遠しいものです。

その「国際協議会」で次期RI会長ステファニー・アーチック氏は2024-25年度の会長テーマを発表されました。「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)です。多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるようにと呼びかけました。それを実現させるか否かは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジックを生み出すのです。また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調されました。そのバランスを取ることの難しさも理解したうえで、自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であるべきだと述べられました。



次期RI会長が述べられる「Magic」とは魔法ではなく、継続と変化(transformation)ではないでしょうか、急速に変化する世界に適応し、奉仕プロジェクトを再構築することではないでしょうか。よりインクルーシブになって参加者の基盤を広げることであり、参加者の積極的な関わりを促す意義ある人間関係、それが「Magic」であり、新たな友情を生み出すものではないでしょうか。

「国際協議会」に参加された本年度のRI会長、ゴードンR.マッキナリー氏はアーチックRI会長エレクトを評して、『人びとを奮い立たせ、大きなインパクトをもたらすリーダーとなるでしょう。成功するためにロータリーが取らなければならない戦略的方向性について、彼女ほど理解している人はいない。』と述べられました。

続けてゴードン会長は、『よきロータリー会員となることの大きな部分は、継続性を受け入れることです。しかし、継続性とは注意を要する言葉です。「マインドフルネス」という言葉と少し似ています。「マインドフルネス」という言葉を聞くと、脳を働かせて何かをすること、を考えるかもしれません。しかし、マインドフル(意識している)という言葉はそれとは対照的です。それは、五感を駆使して人生を、今その瞬間をフルに体験できるよう、脳に力を与えることです。ロータリーでの継続性は、以前とまったく同じ方法で物事を行うことでも、前任者が始めたすべてのプロジェクトをただ継続することでもありません。むしろ、ロータリーの行動計画に組み込まれた変化の公式を受け入れ、世界に永続的な変化を生み出すことに全力を傾けることです。向上しながら年々ロータリーを前進させることです。

これまでずっと行ってきたことを実行する組織から、新会員が入会するたび、新しいプロジェクトを実施するたび、友情が形づくられるたびに、新しいものとなる組織へとロータリーの定義を変えることです。』と述べられています。

この様にゴードン会長が今年度一貫して言ってきた「継続と革新のバランス」は「Magic」に生まれ変わり、よりロータリーは進化、前進していくものと確信しました。皆さんのクラブも変化を受け入れる、今がその時ではないでしょうか。

2023-24年度 ガバナー 酒井 法丈



地区の国際奉仕委員会は水と衛生において数年に渡り各クラブの有志の皆さんのご協力と国際奉仕委員会の協力の基、ラオス国の「水と衛生事業」2016年からコロナになる前の5年間ほど簡易水道、手洗い場、トイレ、などの施設提供と子供たちへの文具の提供などをして識字率の向上にも貢献して参りました。植林事業も実施し多くの樹木を植林する事もできました。活動を実施した村はラオス国のビエンチャン県ケウドム群のポンソンブン村、ポンカン村、ナートン村、コークワン村に出向き事業を重ねてまいりました。現地では水道施設もなく、子供の仕事が川で水くみでした。村に学校施設はありますが、環境の整備が遅れて厳しい生活環境でありました。各村の学校が運営できるように子供の勉強ができる環境整備の支援をさせていただきました。

継続的に事業を実施し、施設の維持管理、運営の指導を実施する必要があります。せっかく支援して出来た施設も現地訪問し維持管理が欠かせません。がしかし、逆に今度は支援慣れしどんどん要望のハードルが上がり、支援が逆に継続することが自立への妨げになる場合があります。

支援先の状況に応じた支援を考え、支援側の自己満足に終わらないように暖かく携わって行く事が必要でしょう。

長年に渡り国際奉仕の諸先輩の方々が継続させてきました事業に敬意を表し感謝すると共に国際奉仕としての活動を実施して参ります。各ロータリークラブからの国際奉仕事業への積極的な取り組みと、ご支援をお願いするしだいです。

地区国際奉仕委員長 **渡邊 寿也**
(豊田RC)



ロータリーの森(コークワン村)植林事業



子どもたちと植樹



豊田RCの寄贈給水塔

3月



世界ローターアクト週間によせて



ローターアクトの現状と課題

ローターアクトクラブは昨年度よりRIの加盟クラブの一員となりました。その為、これまでより大きな権限、責任を持つこととなり、今までの青少年育成事業という側面だけでなく、自立と結果を求められるようになりました。

現在、当地区のローターアクターは約160名です。これは、ロータリアンの3%の人数でしかありません。又、この1年で2つのクラブが終結となりました。理由の1つに提唱ロータリークラブとローターアクトクラブの関係が希薄になっていることがあると思われます。以前はロータリアンの親族や企業から派遣された社員が多く在籍し活動しておりましたが、現在の会員の大半はサラリーマンや学生です。又、今年度開催された青少年奉仕関連委員長会議において質問したところ、提唱クラブの多くの青少年委員長が提唱先であるローターアクトクラブの会長の名前を知らませんでした。

ローターアクトクラブの活動の充実と会員増加の両方を達成することは、大変であります。ロータリアンとローターアクターの垣根を取り払い一緒に活動することから始めたいと思います。共に活動すれば現状と共に課題も見えてくると思います。現在、ローターアクトクラブは、変化の中にありローターアクターへの負荷は大きくなっており、やりがいや成長も大きなものとなるはずですが、

ローターアクターにとって、ロータリアンとの時間は大きな財産となります。そしてロータリアンにとっても彼らの発想、行動力は刺激になるはずですが、これからのローターアクトを全員で考え築いていく為にご理解、ご協力をお願いします。

地区ローターアクト委員長 **山田 康二**
(豊田RC)



次年度のための地区ローターアクト研修協議会



補助金活用のための研修



「ロータリー女性の集い」2年目の報告



女性会員比率は、世界で28%、日本で8.9%、2760地区は6.1%。会員数を誇る当地区でこの数字は情けない! とロータリー女性の集いを継続事業として立ち上げて2年目。今年度も年2回、対面とZoomで開催しました。

PARTⅡは、10月24日(火)11時~14時、名鉄グランドホテル。91名(男性56名、女性35名)が参加。例会仕立ての進行で、メイン卓話者は、柚木裕子米山記念奨学会事務局長(かながわ湘南RC)。愛知県出身で、財団奨学生となってロータリーを知り、その後元財団奨学生によるクラブを設立して会員となり、青少年交換や米山等ロータリーの奨学事業に深く携わっていらしたまさに生き字引。知識と熱意は半端じゃありません。ロータリーの世界が広がる思いがしました。当地区の女性も頑張っています、と、私からはライフワークである東日本大震災被災地支援活動のお話を。フレンチのフルコースを楽しみつつ、女性会員増強のためのネットワーク作りにいそしみました。

PARTⅢは、2月13日(火)19時~21時、Zoomです。登録総数115名(男性82名、女性33名)。Zoomの利点を生かし、全国から11地区20名が参加し、活気ある集いになりました。事前に女性会員増強アンケートを国内全地区に配信。21地区から回答をいただき、その集計結果を発表すると共に、2580(東京・沖縄)、2700(福岡・長崎・佐賀)、2620(静岡・山梨)の3地区に女性会員増強活動報告をしていただいた後、参加者全員が10のグループに分かれて語り合いました。活動報告の熱意とアイデアに触発され、本音トークが展開。地区に外からの風を入れると会員は元気になります。

まずはネットワークを作ろう! この2年間は女性会員増強のいわば土台作りの期間でした。いよいよ本格的なステージが始まります! 来期へ乞うご期待!



知識と熱意で圧倒(メイン卓話者 柚木裕子さん)

地区会員増強委員長 **石井 弘子**
(名古屋錦RC)



Zoom順調に進行中(司会 竹内淑江副委員長)



皆様、ご参加ありがとうございます!(ガバナー事務所から参加のメンバー)



ロータリー財団補助金管理セミナー



2024-25年度のための補助金管理セミナー開催

去る2月8日、名古屋東急ホテルにて、次年度のための補助金管理セミナーが開催されました。地区内84クラブの会長エレクト・次年度幹事をはじめ、奉仕事業担当委員長の皆様にご出席いただきました。酒井法丈ガバナーからはローターアクトクラブのロータリー財団補助金事業活用を推奨して頂き、伊藤靖祐第2地域ロータリー財団地域コーディネーターからは、ロータリーのシステムの素晴らしさをお話いただきました。高山景一ロータリー財団委員長のご挨拶に続き、補助金委員会から地区補助金とグローバル補助金の仕組みや申請要件などを説明申し上げました。また、本年度66クラブで行われた地区補助金事業の中から、瀬戸北RC、豊川宝飯RC、豊橋RCの事業紹介を致しました。いずれも地域社会のニーズを捉え、地域住民などとの連携を取り、その成果が持続可能性をもたらす素晴らしい事業であり、今後の事業構築のご参考にして頂けたのではないかと存じます。更に、グローバル補助金事業の一環である職業研修チーム委員会から、フィリピンとの小児心臓外科手術の医療研修についての報告、グローバル奨学生委員会からはグローバル奨学生の紹介と平和フェローの説明を行いました。ロータリアンからお預かりする寄付金が、シェアシステムを通じて、有意義な補助金に生まれ変わり、地域や世界中で役立っていることをご理解頂けたなら幸いです。結びに、吉川公章ガバナーエレクトから「ロータリーマジック」についてお話しいただき、ロータリアンとしての意義や使命を胸に刻むことが出来ました。次年度の地区補助金の申請受け付けは3月31日までです。

全クラブからの申請をお待ちしております。



会長エレクトなど総勢240名の出席者

地区補助金委員長 **藤野 直子**
(名古屋名東RC)



補助金委員会委員の紹介



吉川ガバナーエレクト

東三河分区紹介



東三河分区ガバナー補佐

竹内 幹尚

(豊川RC)

1959年(昭和34年)2月3日生
(株)竹内家具店代表取締役

東三河分区は愛知県東部に位置し、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村の8市町村で構成され12クラブがあります。従来からそれぞれの地域をテリトリーとして、各クラブは特色あるクラブ運営、地域に密着した活動を行っています。海あり山ありの温暖な気候と豊川用水の恩恵に恵まれた独特の歴史、文化があるのが特徴です。

また、国際的な自動車港湾である三河湾を有し、園芸、家畜なども盛んで農業生産額も有数な地域です。令和6年度には23号線バイパスの全面開通が予定され、三遠・南信の交通網の拠点となります。東三河分区の会員は686名(2023年11月末)と増強に力を入れている元気な分区だと感じます。是非、地区委員会などの開催を東三河で増やして頂き、分区内のクラブが地区をもっと身近に感じることができるようしてほしいと希望します。

最後に、東三河も良い所がたくさんあります。是非お越し下さい。



豊川市御津町 【ユーモラスな奇祭 どんき】
ベンガラを塗られた子どもたちは、1年間無病息災が得られると言い伝えられている。



豊川市 【国指定重要文化財 財賀寺の仁王門と仁王像】
財賀寺は令和6年が開創1300年となり秋には本尊様と文殊菩薩の御開帳が行われる。



田原市 【渥美半島菜の花まつり】
渥美半島一帯で黄色い菜の花畑が見られ、期間中は様々なイベントが行われる。



豊橋市 国指定重要無形民俗文化財
天下の奇祭【豊橋鬼祭】
安久美神戸神明社の例祭。毎年2月10日・11日にわたって行われている。



蒲郡市 【三谷祭の海中渡御】
山車が海に曳き入れられ、この熱気で溢れる光景は迫力いっぱいですまさに圧巻。



新城市 【長篠合戦のぼりまつり】
毎年5月に、長篠の戦いで倒れた関係将士の紋入りのぼり数千本を献植して行うまつり。



三遠ネオフェニックスの試合観戦
3月開催の東三河分区IMへの理解を深めるため、分区内のRC会員と関係者で観戦

豊橋ロータリークラブ

会長 福井 敬

幹事 伊藤 晴康

豊橋ロータリークラブは、1950年の創設以来74年の歴史を積み重ねてきました。伝統を大切にしながら新しい時代にも対応すべく、本年度クラブ方針「Tomorrow's Hope, Today's Harmony ～和をもって尊しとなす～」を掲げ活動を行っています。国際奉仕活動として、今年で25年目となるタイ国チェンライ県ラックペンディング村周辺における山岳民族定住化支援活動に取り組み、本年度はロータリー財団地区補助金を活用して村の経済的自立のため学校5校にミシンを寄贈するとともに活用状況確認のために現地を訪問しました。

また、社会奉仕活動としてローターアクトクラブと連携した豊橋市表浜海岸の清掃活動やNPO法人朝倉川育水フォーラムと連携した朝倉川の樹木の剪定及び川の清掃活動等にも取り組んでいます。



タイ国でのミシン贈呈



朝倉川河岸の樹木剪定活動



表浜海岸における砂浜の清掃活動

蒲郡ロータリークラブ

会長 小池 高弘

幹事 水野 順也

財団補助金事業「ニホンウナギの生態と調査の目的」

11月10日(金)財団補助金事業を開催しました。日本の食文化の一つ“鰻”は近年ではその資源量が減少傾向であり2013年には絶滅危惧IB類に指定され、資源の保全が叫ばれております。蒲郡にある県立三谷水産高校では、近くにある河口に石を積みネットで囲う“石倉カゴ”に入ったウナギを体型や、数量調査し、また、捕獲したうなぎにGPSを埋め込んでの生態系調査を毎年実施しています。当クラブではその調査のサポートとして石倉カゴやその調査に関わる費用を財団補助金にて支援しました。

当日は三谷水産高校の教室にて石倉カゴにおけるニホンウナギのモニタリングについて卓話をいただき、ニホンウナギについての知識と資源保護面からご教授いただきました。



先生・生徒様に目録と記念品を贈呈



石倉カゴの説明スライド

豊橋北ロータリークラブ

会長 金森 正芳

幹事 安達 道行

豊橋北ロータリークラブは創立以来、「植樹と530運動」を2本の柱として活動してまいりました。現在は60周年を迎えた際に新たに立ち上げた奉仕活動として、豊橋技術科学大学の留学生への援助と交流を目的とした当クラブ独自の奨学金制度「サンクス基金」を国際奉仕の柱に据えて活動しております。

社会奉仕活動としては11月に530運動環境協議会の活動に参加する形で、地区補助金事業として「表浜海岸クリーンアップ大作戦」を盛り上げました。

私たち豊橋北ロータリークラブは、地域の530運動への積極的参画、サンクス基金の充実・国際奉仕にもつながる豊橋技科大留学生への援助と交流を活動の中心として地域貢献を図ってまいります。



表浜クリーンアップ



サンクス奨学生納涼例会

豊川ロータリークラブ

会長 池田 哲朗

幹事 小川 晴希

豊川ロータリークラブの本年度の方針は「明るく・楽しく・前向きに！ ～3大行事を成功させよう!～」です。これは「インターアクトクラブ年次大会」「創立65周年記念式典」「東三河分区IM」の3大行事を成功させるべく、会員が明るく楽しくそして前向きにロータリー活動に参画し親睦を図り地域への貢献を深めていきたいと考えたものです。昨年7月17日にはインターアクトクラブ年次大会を、ガバナーはじめ多くのロータリー会員の皆様にご出席いただき、ホスト校である豊川高校鳳翔閣において開催しました。地区内19の高校より特色のある様々な活動報告が行われ、無事終了することができました。残る2大行事を2月、3月に予定しておりますので、こちらの成功へ向けてクラブ全員で取り組んでいきたいと考えています。



インターアクトクラブ年次大会オープニング書道パフォーマンス



豊川IRC創立65周年記念事業引き渡し式

田原ロータリークラブ

会長 大村 俊美

幹事 榎原 源一

9月30日(土)第4回目となる「オフロードトライアスロンin田原」が開催されるにあたり、スイムスタート地点白谷海浜公園の海岸清掃を、9月24日(日)に地元ビーチクリーン団体と一緒にごみ拾い、大きな流木等についてはメンバーのタイヤショベルで集積場に運びました。当日はステックパルーンをメンバーみんなで鳴らして、参加選手の応援をしました。

10月29日(日)田原市民まつり会場に、初めてブースを出し「ロータリーと共にポリオをなくそう」とポリオ撲滅PRをしました。

11月10日(金)には記念すべき3000回例会を、岡部パストガバナーをお迎えして、会員、OB、奥様と一緒にお祝いをしました。また特別寄付を募り、財団、米山に送付することもできました。



清掃



オフトラ応援



3000回例会

豊橋南ロータリークラブ

会長 林 良宣

幹事 石川 昌司

豊橋南ロータリークラブは、豊橋ロータリークラブをスポンサークラブとして1966年4月に創立されました。例会は原則月曜日にホテルアソシア豊橋で行っています。

対外的な活動は毎年1月に行われる「豊橋南ロータリークラブ杯豊橋少年柔道大会」を45年に渡り支援しています。また2月には豊橋市と合同で「明るい家庭づくり推進大会」を主催しており、明るい家庭づくりをテーマにした作文・壁新聞優秀者を表彰しています。共に市内小中学校の生徒を対象とした事業になります。

2023-2024年度は「もう一度 ONE TEAM」と言うクラブテーマのもと、おいしい食事をしながら、面白くためになる卓話を目標にしています。チーム一丸となって進めています。



手に手つないで



明るい家庭づくり推進大会表彰式



豊橋少年柔道大会支援金の贈呈

新城ロータリークラブ

会長 加藤 栄志

幹事 岡村 成夫

新城ロータリークラブは、会員同士や家族、地域の人や子ども、姉妹提携クラブなどの“親睦活動”を活発に行っています。

9月17日・18日の親睦例会では、会員が京都の名所を巡り親交を温めました。

また10月13日の韓国から姉妹提携クラブ大邱嶺南RCの皆様をお迎えした歓迎例会では、音声翻訳アプリを活用し友好を深めました。

10月27日の職場例会は、地元企業の昭典木材(株)峰野晋社長の説明をお聞きしながら木材加工を見学し、11月26日の新城ロータリーカップ少年サッカー大会では、小学生8チームが参加し熱戦を繰り広げました。

12月22日のクリスマス家族会では、日頃ロータリー会員を支えてくださる家族への感謝の日となりました。

これからも新城ロータリークラブは、親睦活動を通して様々な皆様と信頼の絆を結び、友好の懸け橋となります。



大邱嶺南RC歓迎例会



職場例会



サッカー大会

渥美ロータリークラブ

会長 川口 敏郎

幹事 土井 文好

3年間のコロナ禍において、多くの制約を受けてきたクラブ活動を改めて充実したもののできる様クラブ運営の再構築を念頭に置いた活動をしています。当クラブが管理・開催をしている免々田川の河津桜並木、そして「菜の花・桜まつり」は奉仕活動として環境保全、地域活性、青少年育成等の役割を成すと同時にロータリーの公共イメージ向上にも役立っています。

又、行政、地域ボランティア、保育園児、小中学生等の協力もいただき地域全体の盛り上がりを見せています。当クラブの国際奉仕事業として9年前からタイの小中学生への奨学金とランドセルの提供を行ってきました。しかし、近年のタイの物価高と円安により、今後の対応をどうするか検討が必要となっています。



免々田 菜の花・桜まつり



タイ小学校へのランドセル寄贈

豊川宝飯ロータリークラブ

会長 太田 稔

幹事 池田 弘

当クラブは、創立以来「みんな仲良く」を合言葉に和気あいあいとしたクラブです。昨年12月24日に創立38周年を迎え、39周年目に入りました。

毎年、地区補助金を利用して、地域貢献できる事業を行っています。今年度は“未就学児童の交通安全教室支援”事業を行いました。

豊川市には、市内の保育園・幼稚園・小学校等に貸し出すための交通安全教室用の信号機がありますが、老朽化が進み、不具合が出ていることから、当クラブから信号機一式を寄贈しました。合わせて、豊川警察署の協力を得て、市内にある八南保育園で交通安全教室を実施しました。

八南保育園の園児たちは、信号機の青を確認して、①左右の確認、②後ろの確認、③手を上げて渡る、をしっかりとやってくれました。

地域の子どもの命を守るのは大人の使命です。小さい時から交通ルールをしっかりと覚えて、事故にあわないようにしてほしいです。寄贈した信号機一式が、市内の保育園・幼稚園・小学校で活用されて、一つでも交通事故が減ってくれることを願います。



横断歩道を渡る練習をする園児



太田会長から交通標語付きノートを全園児に手渡し

豊橋ゴールデンロータリークラブ

会長 山本 雅久

幹事 高井 龍雄

豊橋ゴールデンRCは、1988年(昭和63年)10月28日、「金曜日に集う楽しい仲間達」を合言葉に、昭和の最後、平成で最初のクラブとして誕生しました。例会場は、JR豊橋駅から車で10分程の場所に位置するロワジールホテル豊橋。ホテル最上階30階で行われる例会場からは、豊橋の街並みを一望できる他、三河湾や近隣の山々の絶景を楽しみながら行う例会はゲスト・ビジターの方々から好評を博しています。創立35周年目を迎える本年度は、「輝こう!豊橋ゴールデンロータリークラブ」をクラブ方針のもと、基本に立ち返って学び奉仕活動の実践を目指します。



10月20日クラブ創立35周年記念例会(講師 高野孫左エ門氏)

田原パシフィックロータリークラブ

会長 鈴木 美仁

幹事 鈴木 江理

当クラブは、1990年7月に渥美半島の田原市に3クラブ目として創立され火曜日の夜間例会を行っています。

本年度会長方針は 変化に対応して“活”

- ①意義ある例会づくり、親睦を深めることによりクラブの活性化。
- ②奉仕活動を通じて地域社会で活躍します。
- ③職業奉仕事業を邁進し、地域社会の活力に。であります。

本年度地区補助金を利用した社会奉仕活動では、「僕らと地球の繋がりのお話」藤原ひろのぶ氏講演会を中学生対象に開催。地球環境に対する教育を行いました。

次世代からSYMPATHYを感じることが出来た事は、四つのテスト「みんなのためになるかどうか」が思い浮かびました。

他にも、隣接している海の環境問題への取り組みや、地域の様々な施設や団体への協力を毎年行っています。

今後もロータリーの信念ある奉仕について、日々勉強し、ロータリアンの能力や可能性で実行することを広めていきたいと思えます。



生徒に囲まれる藤原ひろのぶ氏

豊橋東ロータリークラブ

会長 柳瀬 秀昭

幹事 馬淵 紀充

私たち豊橋東ロータリークラブは、「青少年を対象として教育・スポーツ活動を通して国際交流を図り、世界平和に貢献する」という創立理念に基づいた活動をしています。

本年度の事業活動は、部活動が廃止される中で、青少年の心身の健全なる発達に寄与するために、昨年・一昨年より引き続き、プロ選手を講師に迎えて小学生を対象にバレーボール教室を開催しました。

また、本年7月には私共が提唱した桜丘学園孫便りインターアクトクラブをホスト校に、IAC年次大会が開催されます。皆さま豊橋の地でお待ちしております。



プロが教えるバレーボール教室



桜丘孫便り IAC 阪神淡路大震災追悼

2023-24年度 会員増強報告(2024年1月末)

クラブ名	7/1	12/31	1/31	1/1-1/31	1/1-1/31	1/31	1/1-1/31	1/1-1/31	1/31	
	会員数 (加退会含む)	会員数	男性会員数	男性入会	男性退会	女性会員数	女性入会	女性退会	会員数	
南尾張分区	半田	57	57	52	1	0	6	0	0	58
	常滑	32	32	32	0	0	0	0	0	32
	東海	39	39	37	0	0	2	0	0	39
	東知多	20	20	18	0	1	1	0	0	19
	半田南	30	30	29	0	0	1	0	0	30
	大府	20	20	19	0	1	0	0	0	19
	6RC	198	198	187	1	2	10	0	0	197
西尾張分区	一宮	109	110	108	0	0	2	0	0	110
	津島	53	52	47	0	0	5	0	0	52
	尾西	19	19	18	0	0	1	0	0	19
	一宮北	35	34	28	0	0	6	0	0	34
	稲沢	54	55	50	0	0	5	0	0	55
	あま	65	65	62	0	0	3	0	0	65
	名古屋清須	33	35	31	0	2	2	0	0	33
	尾張中央	27	27	28	1	0	0	0	0	28
	一宮中央	37	37	34	0	1	2	0	0	36
	9RC	432	434	406	1	3	26	0	0	432
	東尾張分区	瀬戸	50	54	52	0	0	2	0	0
犬山		47	48	48	0	0	0	0	0	48
江南		48	48	47	1	1	1	0	0	48
小牧		26	26	22	0	1	3	0	0	25
春日井		50	52	51	0	0	1	0	0	52
尾張旭		20	21	18	0	0	3	0	0	21
名古屋空港		51	49	45	1	0	5	0	0	50
瀬戸北		52	52	47	1	0	6	0	0	53
岩倉		8	8	7	0	0	1	0	0	8
名古屋城北		28	29	23	0	1	5	0	0	28
愛知長久手		14	16	11	0	1	4	0	0	15
愛知ロータリーE		13	15	12	0	0	3	0	0	15
12RC		407	418	383	3	4	34	0	0	417
西名古屋分区		名古屋	173	175	171	0	1	3	0	0
	名古屋西	84	91	90	0	0	1	0	0	91
	名古屋南	103	103	103	0	0	0	0	0	103
	名古屋みなと	56	60	58	0	0	2	0	0	60
	名古屋東南	93	97	83	0	1	14	1	0	97
	名古屋中	131	131	134	3	0	0	0	0	134
	名古屋瑞穂	66	69	69	0	0	0	0	0	69
	名古屋大須	59	62	56	0	0	7	1	0	63
	名古屋栄	98	101	101	0	0	0	0	0	101
	名古屋名南	46	47	41	0	0	6	0	0	47
	名古屋名駅	78	81	71	0	0	10	0	0	81
	名古屋丸の内	43	45	38	0	0	6	0	1	44
	中部名古屋みらい	18	15	11	0	0	4	0	0	15
	名古屋宮の杜	68	73	67	0	0	6	0	0	73
14RC	1,116	1,150	1,093	3	2	59	2	1	1,152	

2023-24年度 会員増強報告(2024年1月末)

クラブ名	7/1	12/31	1/31	1/1-1/31	1/1-1/31	1/31	1/1-1/31	1/1-1/31	1/31	
	会員数 (加退会含む)	会員数	男性会員数	男性入会	男性退会	女性会員数	女性入会	女性退会	会員数	
東名古屋分区	名古屋北	105	111	109	0	0	2	0	0	111
	名古屋東	81	81	80	0	0	2	1	0	82
	名古屋守山	49	49	40	0	0	9	0	0	49
	名古屋和合	81	87	87	0	0	0	0	0	87
	名古屋名東	59	61	50	0	0	11	0	0	61
	名古屋名北	30	26	19	0	1	6	0	0	25
	名古屋千種	28	29	28	0	0	1	0	0	29
	名古屋昭和	50	50	46	0	0	4	0	0	50
	名古屋錦	35	35	23	0	2	10	0	0	33
	名古屋東山	23	25	19	0	0	6	0	0	25
	名古屋葵	18	20	18	0	0	2	0	0	20
	名古屋アイリス	27	27	14	0	0	11	0	2	25
	12RC	586	601	533	0	3	64	1	2	597
東三河分区	豊橋	111	112	105	0	2	5	0	0	110
	蒲郡	57	59	56	0	0	3	0	0	59
	豊橋北	54	55	51	0	1	3	0	0	54
	豊川	69	73	71	0	0	2	0	0	73
	田原	33	35	34	0	0	1	0	0	35
	豊橋南	54	54	49	0	1	4	0	0	53
	新城	41	40	38	0	0	2	0	0	40
	渥美	32	33	33	0	0	0	0	0	33
	豊川宝飯	72	72	68	0	0	4	0	0	72
	豊橋ゴールデン	55	57	56	1	0	2	0	0	58
	田原パンフィック	36	39	38	1	0	3	1	0	41
	豊橋東	53	57	54	1	0	4	0	0	58
	12RC	667	686	653	3	4	33	1	0	686
西三河中分区	岡崎	83	87	81	0	0	6	0	0	87
	豊田	95	100	99	1	1	1	0	0	100
	岡崎南	68	71	68	0	0	3	0	0	71
	豊田西	107	103	103	0	0	0	0	0	103
	岡崎東	51	52	51	0	0	1	0	0	52
	豊田東	83	83	76	0	4	4	1	0	80
	岡崎城南	42	45	46	1	0	0	0	0	46
	豊田三好	22	22	22	1	0	1	0	0	23
	豊田中	42	42	33	0	0	9	0	0	42
	愛知三州	24	28	26	1	0	3	0	0	29
	10RC	617	633	605	4	5	28	1	0	633
西三河分区	刈谷	93	98	90	0	0	8	0	0	98
	安城	49	51	44	0	0	7	0	0	51
	西尾	75	77	73	0	0	4	0	0	77
	碧南	58	61	60	2	0	3	0	0	63
	西尾一色	20	20	18	0	0	2	0	0	20
	高浜	27	27	25	0	0	3	1	0	28
	知立	54	58	58	0	0	0	0	0	58
	西尾KIRARA	55	55	55	0	0	0	0	0	55
	三河安城	63	63	56	0	0	7	0	0	63
9RC	494	510	479	2	0	34	1	0	513	
合計	4,517	4,630	4,339	17	23	288	6	3	4,627	

1月集計	クラブ数	2023年7月1日の会員数			1月末 会員数	当月の会員増減数			7月1日からの会員増減数		
	84RC	会員数	内男性	4,246		会員数	内男性	-6	会員数	内男性	93
		4,517	内女性	271		4,627	-3	内女性	3	110	内女性